

The 2 Chome Times 平成28年5月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO216.

2016・5・25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス5月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

<http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

★「Thanks おきなわ・ANA/SNA」交流会で沖縄の皆さんとの親睦を図ってきました！

「KOBE 夢・未来号・沖縄」プロジェクトで毎年多大なるご協力を頂いている沖縄の皆様、ANAさん、ソラシドエアさんへ感謝する趣旨で、今年も4月19日から2泊3日の旅程で「第10回 Thanks おきなわ・ANA/SNA」が開催され、神戸からは145名の皆様が参加しました。那覇市のパシフィックホテル沖縄で開催された「交流会」では、安慶田副知事、高良前副知事、嘉数元副知事、上原元副



知事ら沖縄県の皆様、ANA/SNA関係者など、総勢110名の方々と親睦を深めました。久利会長から開会に先立ち、先日発生した「熊本地震」で被災された方々へのお見舞い金のご協力についてお願いをし、多くの義援金を賜りました。続いて安慶田副知事から温かいご挨拶、さらに神戸側代表として岡口副市長による乾杯のご発声により、賑々しく開宴しました。「ハワイアンフラ KOHANA」、「エイサー団体那覇太鼓」の競



演による、優しくまた力強い演舞パフォーマンスで盛り上がった後、「お楽しみ抽選会」では、神戸ゆかりの品々を沖縄の方々へ、また沖縄からは「泡盛」などの景品を神戸の当選者にお持ち帰り頂きました。続いて1月の「KOBE 夢・未来号・沖縄」の「お別れコンサート」でもお世話になった「うたばす」の皆様によるライブコンサートが宴に花を添え、大変盛り上がりしました。

二日目は「第3回夢・未来号杯」ゴルフコンペが「琉球ゴルフ倶楽部」で開催され、沖縄、神戸双方参加で前夜に引き続き親睦を深めました。年々、親睦の輪の広がりと同時に深みを感じられ、三日間を通じて次回の「交流会」がますます期待される素晴らしいひと時となりました。「交流会」にご参加下さいました皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

★三宮あんしんすこやかセンターを御存じですか？

あんしんすこやかセンターは神戸市が設置する高齢者に関する相談窓口です。市内全域に76か所設置されています。その中の一か所として、「三宮あんしんすこやかセンター」があります。それもサンプラザの3階というとても便利な場所にあります。主な仕事は「介護保険の事が知りたい」、「もの忘れが心配、これって認知症？」、「親の介護に疲れた、介護の方法がわからない」、「一人暮らしなので、具合が悪くなった時が不安」などなどの悩みや疑問に答えてくれることです。私達の街、三宮でもお買い物をされている高齢者の中に、「お一人にしておいて大丈夫なのだろうか？」や、明らかに保護が必要な方をお見受けします。実際に各お店でその様な方々に対処される場合、どう対応すればよいのか迷われてしまうのではないのでしょうか。そういった場合一つの方法としてこの「三宮あんしんすこやかセンター」にご相談するというのが皆様の一助になると思います。幸いなことにご紹介した様に近距離にセンターはありますので、担当者の方に対応を相談したり、お店まで来て頂くことも可能です。



センターの方にお聞きしましたところ、ご遠慮なくご相談して下さいとのことでした。なおセンターでは「まちかど☆健康講座」や「介護リフレッシュ教室」を定期的に開いておりますのでご興味のある方はどうぞセンターまでお問い合わせ下さい。

三宮あんしんすこやかセンター：三宮町1-8-1 サンプラザ3F Tel.078-321-0400

★氏神さん生田神社の春祭りです

私達三宮の氏神さん生田神社の春祭り（生田祭）が4月15・16日の二日間賑やかに行われました。



今年のお祭りは宮元地区（南が高架下以北、西がトアロード以東、東がフラワーロード以西、北が北野町までの三宮北部地域）の御奉仕当番により行われました。15日の例祭氏子奉幣祭では播州大塩天満宮に鎌倉時代から伝わる毛獅子舞が25人の男若衆により勇壮に舞われました。そして16日の神幸祭には700名にも上る行列が巡幸され、特に100名



を超えるお神輿の迫力には驚かされるばかりでした。また、この地域での奉仕において恒例とも言える女子神輿が担ぎ出され、100名にもものぼる華やかな巡幸が繰り広げられました。

★我が名は鶴亭 若冲、大雅も憧れた花鳥画（かっちょいいが）

5月29日まで神戸市立博物館で開催されている上記の特別展に行ってきました。鶴亭（かくてい・1722～85）は長崎出身の黄檗僧（「おうばくそう」、黄檗宗とは江戸時代に始まった仏教の一宗派）であり、画家でもある彼は中国由来の美しく、おめでたい花鳥画（南蘋風「なんびんふう」花鳥画）をかっこよくアレンジし、京都、大坂に初めてもたらして一大ブームを巻き起こしました。また、黄檗僧が得意とした水墨花木

図も数多く手がけました。憧れの地・長崎からやってきた鶴亭は、唐（から）の香りをまとう羨望的。かっこいい花鳥画＝「花鳥画（かっちょいいが）」を生み出す鶴亭に、伊藤若冲（じゃくちゅう）も大きな刺激を受け、池大雅（たいが）も深い交友を持つなど、京坂の画家に与えた影響ははかりしれないそうです。実際に76件の作品を観てみると、その天才的な描写技術には驚かされますが、多くの絵は不特定の人への絵ではなく、特定の人物への贈り物であるため、絵の中に主に「吉祥画題」といったメッセージが描かれています。例えば鳥がキリギリスを飲み込む様が最高位の官職への補任を祝う意味があるのだそうです。驚きですね。鮮やかな色彩と豊かな表情の鳥が魅力的な著色花鳥画、大胆かつ冴えわたる筆遣い



からなる、鶴亭の「花鳥画（かっちょいいが）」76件（うち初公開45件！）を展覧しています。あわせて、鶴亭が学んだ黄檗絵画や南蘋風花鳥画、同時代に活躍した池大雅、伊藤若冲、曾我蕭白や、鶴亭の弟子たちの作品も紹介されています。チャンスのある方は是非市立博物館までお出かけ下さい。神戸市立博物館：Tel.078-391-0035 ホームページ <http://www.city.kobe.lg.jp/museum/>

★編集後記

またもや大地震が熊本を直撃しました。各地で地震の被害が報道される毎に、21年前の阪神淡路大震災の惨状がフラッシュバックしてきます。当時、輸送機関が復活し神戸に他府県から多くのお客様がみえられたとき忘れられない思い出があります。名古屋から来られたご夫婦がお店に来られ御主人が私に「神戸に来て神戸のお店でお買い物をしなければと思い家内とやって来ました」と仰って頂きました。多くの方々が神戸の復興を望んでおられるし、何か力になりたいと強く思っていることに心が震えました。神戸の街は多くの方々の手助けを頂いて復興してきたと感じています。今まさに頂いたご恩をお返しする時だと強く感じています。私達も神戸の街衆として何かをしなければと思っており、義援金も大きな助けになるものと思っています。各店頭



ゆうちょ銀行 郵便局では日赤平成28年熊本地震災害義援金を受け付けております

口座番号 00130-4-265072で振り込み手数料免除、寄付金控除も受けられます。